

科目	産業社会と人間		
年次	1年次	単位数	2
科目目標	① 天草地域の産業の実態を理解するとともに、自己の理解を深め、自己実現に必要な能力・態度に気づくようにする。(知識及び技能) ② 地域社会と自己との関わりを見つめる中で発見した地域の魅力や、自身の将来の進路や生き方について考察したことを整理・分析してまとめ、表現することができる。(思考、判断、表現) ③ 学習活動に主体的・協働的に取り組むとともに、自らの将来をデザインし、計画的に行動しようとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)		

期間	学習活動	学習内容・ねらい・留意点	評価の観点・評価方法
年度当初 ～前期中間考査	1 オリエンテーション  2 自己理解  3 職業調べ (1) 調べ学習  (2) 発表	・「産業社会と人間」の学習を通して、自分たちの暮らす天草地域の課題に触れることで、自己の将来の在り方について考えを深めさせ、主体的に考える姿勢を身につけさせる  ・学校や社会で自己を生かすために、自己理解が重要であることを認識させる  ・職業的な視野を広げるとともに、働くことの意味や仕事のやりがいを考えさせる  ・発表を通して他者の意見に触れ、視野を広げる	・ワークシート(知識・技能)  ・ワークシート(知識・技能)  ・発表(思考・判断・表現)
～前期期末考査	4 科目選択  5 大学・専門学校調べ (1) 調べ学習  (2) 発表(グループ別)	・各教科・科目の特徴を知り、自分の進路希望に沿った科目選択をさせる  ・上級学校の調べ学習を通して、入試制度や何が学べるのかを知り、進路選択を考える契機とする  ・発表を通して他者の意見に触れ、視野を広げる	・ワークシート(知識・技能)  ・発表(思考・判断・表現)

	<p>6 インターンシップ</p> <p>(1) 事前準備</p> <p>① 敬語・電話対応の練習</p> <p>② 敬語テスト・電話対応テスト</p>	<p>・社会人として必要なマナーやスキルについて学ばせる</p> <p>・社会人として働くことはどういうことなのかを学び、インターンシップに前向きに取り組む姿勢を身に付けさせる</p>	<p>・ワークシート(知識・技能)</p> <p>・電話対応(知識・技能)</p>
～後期中間考査	<p>(2) 体験実施(3日間)</p> <p>(3) 事後活動</p> <p>① お礼状作成</p> <p>② インターンシップの報告書作成(個人作成)</p> <p>③ インターンシップ報告発表(グループ別)</p>	<p>・職業観、勤労観を養うとともに、自己の適性の発見や将来の進路選択の契機とする</p> <p>・経験してきたことをまとめることで、理解を深める</p> <p>・発表を通して他者の意見に触れ、視野を広げる</p>	<p>・活動記録(知識・技能、思考・判断・表現)</p> <p>・お礼状作成(知識・技能)</p> <p>・報告書作成(思考・判断・表現)</p>
～後期期末考査	<p>7 総合学科発表会</p> <p>(1) 事前準備</p> <p>(2) 発表</p> <p>8 面接練習</p> <p>9 ライフプランニング講座</p>	<p>・グループワークを通して、協働して作品を作りあげる姿勢を養う</p> <p>・自己分析を通して、それを文章としてまとめ、発表する態度を育てる。</p> <p>・自分の将来の生き方とそれに必要なお金について考え、目標に向けて努力する姿勢を育てる。</p>	<p>・発表(思考・判断・表現)</p> <p>・ワークシート(思考・判断・表現)</p> <p>・ワークシート(主体的に学習する態度)</p>
～年度末	<p>10 小論文練習</p> <p>11 プレ探究</p>		

科目	総合的な探究の時間		
年次	2年次	単位数	1
科目目標	① 天草地域に関わる探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題の解決が地域の発展に結びつくことを理解できるようにする。(知識・及び技能) ② 地域社会や自己との関わりから探究課題を見だし、解決のための情報を集め、整理・分析してまとめ、効果的に表現することができるようにする。(思考、判断、表現) ③ 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自分の将来や地域社会のために役立てようとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)		

期間	学習活動	学習内容（ねらい）	評価の観点・評価方法
年度当初 ～前期中間考査	1 オリエンテーション 総合的な探究のすすめ方  2 ログイニング体験 (1) 体験活動（情報収集）  (2) 課題の整理・分析	・「総合的な探究とは何か」を理解させるとともに、地域社会における自己の在り方について考えを深めさせ、主体的に考える姿勢を身につけさせる。  ・自分たちの暮らす牛深地域の魅力や課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むことで、牛深地域の発展につながることを理解させる。  ・過年度のログイニングを体験する過程で、牛深の魅力を再発見するとともに、地域の活性化に向けた課題を発見し、今年度のログイニングの企画・立案に活かす機会とする。	・ワークシート （知識・技能）  ・ワークシート （知識・技能、 思考・判断・表現）
前期中間考査～ 後期期末考査	3 ログイニングの実施 (1) 事前活動（グループ活動） 実行委員と4つの班に分かれて準備を行う ① 実行委員	・グループ活動を通して、協働して取り組む姿勢を養う。  ・ログイニングの企画・立案、各班との連絡調整をおこなう。	・各グループ活動の成果物 （思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

	<p>② 調査班</p> <p>③ 店舗班</p> <p>④ 広告・宣伝班</p> <p>⑤ イベント班</p> <p>(2) プレロゲイニング</p> <p>(3) 実施当日 (11月 or 12月)</p> <p>(4) 事後活動</p> <p>①お礼回り</p> <p>②アンケートの集計・分析</p>	<p>・調査班は、参加店舗と観光名所の情報を収集、ロゲイニングのチェックポイント一覧表の作成をおこなう。</p> <p>・店舗班は、牛深商店街の参加交渉と店舗と共同した商品開発をおこなう。</p> <p>・広告・宣伝班はポスターのデザインの考案、印刷、各所への配布をおこなう。また、instagram、TikTok、Xを使って宣伝する。</p> <p>・イベント班は、企画したイベントのルール作成と準備をおこなう。</p> <p>・本番同様、受付、チェックポイント、イベントを行い、課題を洗い出す。</p> <p>・(R7) 海彩館をスタート地点として、ふらっと部門と競技部門に分かれてロゲイニングを実施。</p> <p>※R8 は検討中</p> <p>・参加店舗へあいさつ回りをおこなう。</p> <p>・参加者アンケートの実施・集計を行い、集計結果の整理・分析を行う。</p>	<p>・活動記録 (知識・技能)</p>
<p>後期期末考査～ 年度末まで</p>	<p>5 総合学科発表会</p> <p>(1)まとめ(発表資料のまとめ)</p> <p>(2)発表</p> <p>6 3年次の探究活動のテーマ決め</p>	<p>・ロゲイニングの成果をまとめ、発表資料(スライド)を作成・発表する。</p> <p>・課題をもとに問いを立て、探究活動のテーマを決める。</p> <p>・情報収集をおこなって計画を立てる。</p>	<p>・発表(思考・判断・思考)</p> <p>・活動記録(知識・技能、主体的に学習に取り組む態度)</p>

科目	総合的な探究の時間		
年次	3年次	単位数	2
科目目標	① 天草地域に関わる探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題の解決が地域の発展に結びつくことを理解できるようにする。(知識及び技能) ② 地域社会や自己との関わりから探究課題を見だし、解決のための情報を集め、整理・分析してまとめ、効果的に表現することができるようにする。(思考、判断、表現) ③ 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自分の将来や地域社会のために役立てようとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)		

期間	学習活動	学習内容（ねらい）	評価の観点・評価方法
年度当初 ～後期中間考査	1 オリエンテーション (1) 総合的な探究のすすめ方  2 個人・グループ別探究活動 (1) 探究テーマの設定  (2) テーマ発表会  (3) 探究活動  (4) 中間報告会 ①中間報告のまとめ ②発表（9月下旬）  (5) 最終報告会	・自分たちの身の回りの課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むことで、地域課題の解決や地域の発展につながることを理解させる。  ・身の回りの課題から探究テーマの設定をおこなう。  ・テーマ設定の理由や仮説、活動計画を発表し、様々な意見を聞くことで、テーマの修正や活動の見通しを持たせる。  ・個人及びグループで探究をおこなう。  ・中間報告を行うことで、これまでの探究活動の成果を整理・分析して振り返り、探究活動のさらなる深化につなげる。  ・各グループが探究活動の過程と最終成果をまとめ、発表資料（スライド）を作成・発表する。	・プレゼンテーション（スライド） （思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）  ・活動記録 （知識・技能）  ・発表資料（スライド）（思考・判断・表現）  ・発表資料（スライド）（思考・判断・表現）
後期中間考査～ 12月	3 総合学科発表会 (1) 最終報告のまとめ (2) 発表	・年次で選出された代表2グループが成果発表をおこなう。	